



油井さん 宇宙満喫

油井亀美也さん(45)が国際宇宙ステーションに滞在して1カ月余り、順調に仕事をこなしている。最重要任務の一つだった補給機「こうのとり」のキャッチも難なく成功し、「1等星並みに輝けたかな」と達成感も口にした。暮らしぶりを短文投稿サイトのツイッターで「まめに発信、宇宙ライフも満喫しているようだ。」



油井亀美也さんが「金色の宝箱」と表現した補給機「こうのとり」。自ら操作するロボットアームでつかんだ=24日(左)「こうのとり」で届けられたかんきつ類に喜ぶ油井亀美也さん=25日 (いずれもNASA提供)

国際ステーション 滞在1カ月

「1カ月以上たち、適応が進んだという。どちらが上でも下でも 太陽の光を浴びて接気はしなくなった。体近する様子を油井さん 回転させながら移動が「金色の宝箱のよう」と喜んだ。ドッキング後は荷物管理の責任者として積み荷の移送に追われている。 JAXAによると、油井さんは既にイネを育てる日本の実験や、自らを実験台にして無重力の環境が目に与える影響を調べる医学検査などを実施した。実験は分刻みで計画されており「平日はほとんど窓の外を見る時間はない」というが「大変

当にうれしい。新鮮な果物を送ることができるとは、実はすごいこと」と喜んだ。ドッキング後は荷物管理の責任者として積み荷の移送に追われている。 JAXAによると、油井さんは既にイネを育てる日本の実験や、自らを実験台にして無重力の環境が目に与える影響を調べる医学検査などを実施した。実験は分刻みで計画されており「平日はほとんど窓の外を見る時間はない」というが「大変

無重力 徐々に適応／生活まめにツイート

無重力が弱まるのを防ぐため、専用機器を使ったジョギングや重量挙げなどの運動も欠かせない。「中年としても若い人には負けれない」と懸念だ。 ツイッターには「大気の薄さに驚いた。地上で、ありがたみを実感することは少ないが、本当に貴重です」



こうのとり到着のイメージ

ですが、好きなことだから、楽しんでいる。美しい島々を守るため、地球温暖化を止めなければ」と宇宙

なるではの感想も書き込んでいる。勤務時間外は、日本の窓から星を眺め「本当に夢のようです」と興奮した様子。子どもたちの、宇宙飛行士だけでなく天文学者も夢だ。油井さんは「天気が悪く星が見えない」といってごまかす星好きにはたまらない」と揶揄している。油井さんの滞在は年末まで1カ月の予定。

① 油井さんが成功させた最重要任務は、何でしたか。

② 宇宙航空研究開発機構(JAXA)が、油井さんにプレゼントしたものは何ですか。

③ 油井さんが国際宇宙ステーションに滞在して1か月、既に実施したのはどんな検査ですか？記事に波線を引きましょう。

④ この記事を読んだ感想を書きましょう。

名前【

】